

事務事業名		農村公園管理事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	20 良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 H10 年度～)	
	基本事業名	04 公園・緑地の整備		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 02 18	
所属	部課名	農林水産部農林課		事務事業区分	
	課長名	菅原 博幸		☒ A 政策事業 ☐ B 施設整備 ☐ C 施設管理 ☐ D 補助金等 ☐ E 一般(A～D以外)	
	係名	農政係	電話 27-3111		
	担当者	松川 直史	内線 7122		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
・綾里農村公園と吉浜農村公園を維持管理する事業。 ・定期的に草刈り等の維持管理業務を行っている。				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 遊具の安全点検回数 回 イ 草刈りの実施回数 回 ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
・公園の管理 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度と同じ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・農村公園施設 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。		名称 単位 カ 農村公園の数 箇所 キ ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・公園・緑地が確保されている サ 農村公園施設の修繕件数 件 シ ス			

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	1,649	22	13	30	30
			事業費計 (A)	千 円	0	1,649	22	13	30	30
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時 間	20	40	50	50	40	40
			人件費計 (B)	千 円	80	160	200	200	160	160
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	80	1,809	222	213	190	190
⑤活動指標			ア	回	0	1	-	-	-	-
			イ	回	2	3	3	2	2	2
			ウ							
⑥対象指標			カ	箇所	2	2	2	2	2	2
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	0	1	0	0	0	0
			シ							
			ス							

事務事業ID	1226	事務事業名	農村公園管理事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

子供の遊び場や地域レクリエーション・コミュニティ活動等の場として、平成9年度に農村公園を開設し、平成10年度から管理事業が開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・緑とオープンスペースを確保する公園は、環境や防災上の観点からも重要性があるが、一般の利用者はほとんどいない。
- ・綾里農村公園は平成25年度まで地域の団体に草刈等の維持管理を委託していたが、平成26年度からは市で管理している。
- ・綾里農村公園の遊具が老朽化し、使用ができない状況だったため、平成28年度に遊具を撤去した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・農村公園の草刈り等がされてないように見受けられるため、適切に管理するよう求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・適正な維持管理を行うことにより、公園・緑地の整備環境が維持される。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・農村公園は、市が所有する公共施設であり、その維持管理については市の責任において行う必要がある。 ・住民福祉の向上につながるもので関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・公園施設の維持管理を通じ、地域の生活空間向上に資するものであり、対象、意図は妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・利用者が快適に利用できるよう引き続き適正に維持管理していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・廃止や休止は、農村公園施設の荒廃を招き、公園の快適利用を阻害し、事故の要因にもなりうる。よって、廃止及び休止することはできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・公園施設維持管理にかかる消耗品費のみであり、削減はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・現地の維持管理に係る人件費のみであり、削減はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・農村公園は、地域住民を主とする不特定多数の人が利用しており、受益者負担に馴染まない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 地域の自治会等に草刈り等の維持管理を委託することを検討していく。		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	引き続き適切に維持管理していく。